

科目名：看護管理 (Nursing Administration) 履修年次/時期：3年次 前期 授業形態：講義 担当教員：棚橋泰之		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	看護管理の概念と原理を学び、看護の対象者に看護サービスを提供するための「しくみ」について学び、その内容や方法についての理解を深める。また、マネジメントに必要な知識と技術および看護を取り巻く諸制度について理解する。 CP2.3.6 に関連する。科目 No.KNz-403		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		◎	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 看護管理学の概要について説明できる。 2. 看護を取り巻く、保健医療福祉の仕組みについて理解できる。 3. 看護師の役割と機能について説明できる。 4. 看護職のキャリアマネジメントについて説明できる。 5. 看護サービスのマネジメントの概要について説明できる。 6. 医療安全の基本的な考え方と看護師の役割について説明できる。		
授業概要	保健医療福祉施設や地域における看護部門の役割と機能を知り、看護師として、チーム医療・看護ケアにおけるメンバーシップ及びリーダーシップに関する基礎的知識を学ぶ。		
評価方法	定期試験 100% 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】 0.5 時間 【復習】 0.5 時間		
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院		
参考書	必要時、提示する。		
問い合わせ連絡先	棚橋泰之 3号館研究室 不在の場合は、tanahashi@kdu.ac.jp で連絡して下さい。		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 () 限目	ガイダンス ①学修目的、到達目標、授業概要、評価方法がわかる 看護とマネジメント ①看護管理の定義が説明できる ②看護管理学の概念構成がわかる ③看護のマネジメントが行われる場が説明できる ④これからの看護職に求められるマネジメントがわかる	予習]テキスト第 1 章を通読 [復習]講義内容 [キーワード]看護管理の定義、看護管理学の概念構成、保健・医療・福祉、組織論、看護管理マネジメントプロセス、PDCA サイクル、患者の権利の尊重、インフォームドコンセント、意思決定支援、医療制度	講義 ○
2 () 限目	看護ケアのマネジメント (1) 安全管理 ①安全管理のプロセスとシステムについて説明できる ②医療における安全管理体制についてわかる ③医療事故対策についてわかる ④院内感染対策についてわかる	[予習]テキスト第 2 章 P.16～41 を通読 [復習]講義内容 [キーワード]安全管理、安全管理プロセス、安全管理システム、医療事故、アクシデント、インシデント、事故報告書、安全確保、院内感染対策	講義 ○
3 () 限目	看護ケアのマネジメント (2) チーム医療 ①チーム医療とは何かが説明できる ②チーム医療に必要な機能がわかる ③看護ケア提供システムについて説明できる ④他職種との連携・協働についてわかる	[予習]テキスト第 2 章 P.41～50、第 4 章 P.91～96 を通読 [復習]講義内容 [キーワード]チーム医療、連携・協働、看護ケア提供システム、チームナーシング、プライマリーナーシング、患者受け持ち方式、機能別看護方式、パートナーシップナーシングシステム	講義 ○
4 () 限目	看護ケアのマネジメント (3) 看護業務の実践 ①看護業務とは何かが説明できる ②看護基準と看護手順の違いが説明できる ③ケアの提供にかかわる情報についてわかる ④日常業務のマネジメントについてわかる	[予習]テキスト第 2 章 P.51～62 を通読 [復習]講義内容 [キーワード]看護業務、看護基準、看護手順、クリティカルパス、情報、データ、診療記録、看護記録、標準化、日常業務のマネジメント、優先順位	講義 ○
5 () 限目	看護職のキャリアマネジメント ①看護職のキャリアマネジメントについて説明できる ②看護職の技能習得段階について知る ③新人看護職員の標準的な到達目標がわかる ④自己のキャリアプランをイメージできる	[予習]テキスト第 3 章を通読 [復習]講義内容 [キーワード]キャリア、キャリア形成、キャリアプラン、ベナーの看護職技能習得レベル、ドレイファスモデル、新人看護職員研修ガイドライン、キャリアラダー、ストレスマネジメント	講義 ○

<p>6 ()</p> <p>限目</p>	<p>看護サービスのマネジメント (1)</p> <p>①看護サービスとは何かが説明できる</p> <p>②組織的達成のためのマネジメントについてわかる</p> <p>③看護の組織化についてわかる</p> <p>④職位と職務についてわかる</p> <p>⑤看護サービス提供のしくみづくりについてわかる</p>	<p>[予習]テキスト第 4 章 p.78~91 を通読</p> <p>[復習]講義内容</p> <p>[キーワード]サービス、看護サービス、PDCA サイクル、理念、組織化、組織図、看護部間の組織、職位と職務規定、看護単位、PPC 方式</p>	<p>講義</p> <p>○</p>
<p>7 ()</p> <p>限目</p>	<p>看護サービスのマネジメント (2)</p> <p>①新人看護職員の教育方法について説明できる</p> <p>②人材フローについて概要がわかる</p> <p>③労働環境について概要がわかる</p> <p>④施設・設備環境のマネジメントについてわかる</p>	<p>[予習]テキスト第 4 章 p.96~136 を通読</p> <p>[復習]講義内容</p> <p>[キーワード]新人教育、人材フロー、労働環境、ワーク・ライフ・バランス、環境のマネジメント、物的資源管理</p>	<p>講義</p>
<p>8 ()</p> <p>限目</p>	<p>看護を取り巻く諸制度</p> <p>①看護師の法的責任について説明できる。</p> <p>②医療制度について概要がわかる。</p> <p>③保険・医療・福祉の協働・連携について理解できる。</p>	<p>[予習]テキスト第 6 章 p.116~194 を通読</p> <p>[復習]講義内容</p> <p>[キーワード]保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令、医療法、医療保険・介護保険</p>	<p>講義</p>